

Urban Innovation TOYONAKA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト



ご参加ありがとうございます。
15時から開始します。
もうしばらくお待ち下さい。

Urban Innovation TOYONAKA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト



オンライン説明会

2023年5月17日（水）15時～16時半



時間	内容	登壇者
15:00～15:10	事業概要説明（10分）	経営戦略課 安藤
15:10～15:25	Urban Innovation TOYONAKAの流れ（15分）	UIJ事務局 相馬
15:25～15:45	各課題説明（各3分）	
	1. 子育て中、休むのは気が引ける？ 保護者の「フリータイム」をつくるための調査実証を！	こども支援課 後藤
	2. データでわかる!? 駅周辺の「にぎわいづくり」スキームをつくりたい！	都市整備課 松木
	3. 救急の知識を広めたい！ アクティブシニアへの普及加速の実証実験！	救急救命課 田中
	4. 避難所のリアルタイム状況把握はどこまでできる？ デジタルツール開発実証実験！	危機管理課 原園
	5. 保育現場の隠れた課題とは？ 真の課題を見つけて改革したい！	こども事業課 木村
15:45～16:25	各課題ごとに質疑応答（ブレイクアウトルーム）	
16:25～16:30	全体QA&クロージング	UIJ事務局 相馬



本日の質問はSlidoで受付しております！

Join at
slido.com
#uit2023



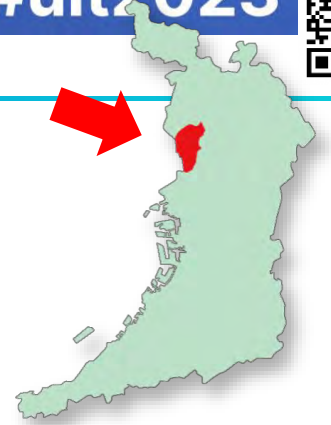


豊中市
Toyonaka City

都市経営部 経営戦略課



豊中市のご紹介



人口／約40万人 <中核市>
面積／36.6 km²

豊中市にある大学



大阪大学
大阪音楽大学

豊中市への交通アクセス



大阪国際空港



阪急宝塚線 大阪モノレール
北大阪急行線



名神高速道路 中国縦貫自動車道など





豊中市の魅力・特徴



教育文化都市

市内初の、施設一体型小中一貫の義務教育学校「庄内さくら学園」が開校



救命力世界一

救命講習修了者・救急隊・救急救命士数の面積割合が全国トップレベル



高校スポーツ発祥の地

夏の全国高校野球大会の前身である野球大会が、豊中グラウンドで初めて開催



音楽あふれるまち

服部緑地に本拠地を置く、日本センチュリー交響楽団や大阪音楽大学と連携



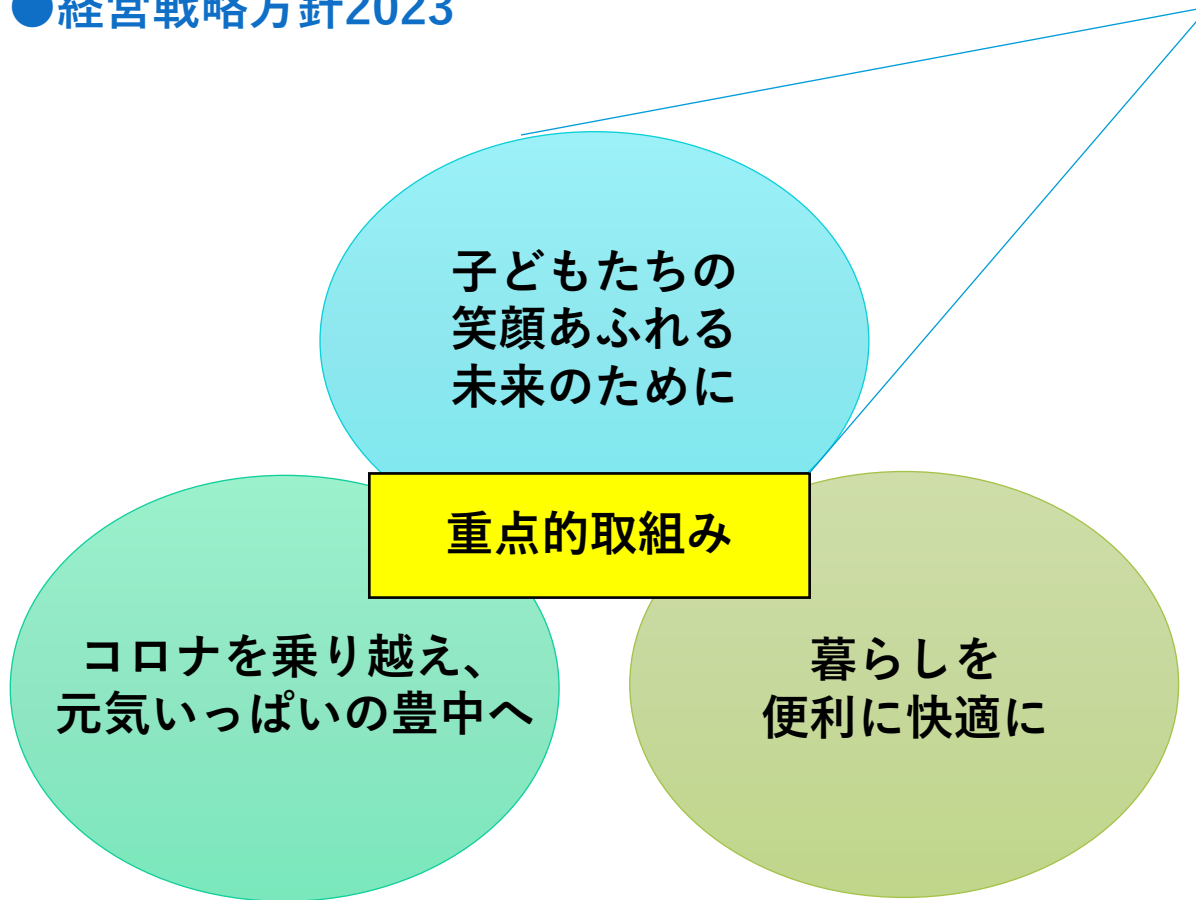
良質な住環境

全国的な人口減少の中「住まうまち」として選ばれ、人口は微増傾向に



豊中市の施策

●経営戦略方針2023



●子育て・教育分野の取組み

・令和5年4月、はぐくみセンター始動

- こども家庭センターの機能を持つ相談支援機関を、府内で初めて設置。
- 全ての妊産婦、子どもとその家庭に対し、児童福祉・母子保健だけでなく、学校教育も一体となってより確実に支援を届ける。



- ◇ ライフステージに沿った切れめのない支援
- ◇ 一人ひとりのニーズに応じた支援の提供

・児童相談所の設置（令和7年度開設予定）

- 大阪府内中核市で初の設置。
- 子どもの権利擁護や子育てに関する問題・不安を抱える家庭に迅速かつ丁寧に切れめなく包括的に支援が行える体制強化。



- ◇ 地域力・市民力、子育て支援施策の充実
- ◇ 誰ひとりとして取り残さない地域社会の実現



- 予算化・事業化に至っていないものの
行政として解決したい地域課題は数多くある
- 行政の困りごとを発信し、課題解決に繋げる

協働の力で解決したい
地域課題を庁内で募集





今年度募集する課題 5 件



子育て中、休むのは気が引ける？保護者の「フリータイム」をつくるための調査実証を！

豊中市 こども支援課（暮らしやすさ向上プロジェクト）

保健・福祉・介護 # 子ども



データでわかる!? 駅周辺の「にぎわいづくり」スキームをつくりたい！

豊中市 都市整備課

まちづくり # 住宅・都市



救急の知識を広めたい！アクティブシニアへの普及加速の実証実験！

豊中市 消防局 救急救命課

消防 # 防災



避難所のリアルタイム状況把握はどこまでできる？デジタルツール開発実証実験！

豊中市 都市経営部危機管理課

防災



保育現場の隠れた課題とは？真の課題を見つけて改革したい！

豊中市 こども事業課

子ども

Urban Innovation TOYONAKA／アーバンイノベーション豊中として
協働で課題解決をめざすパートナーを募集

ご応募お待ちしております！



Urban Innovation TOYONAKA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト

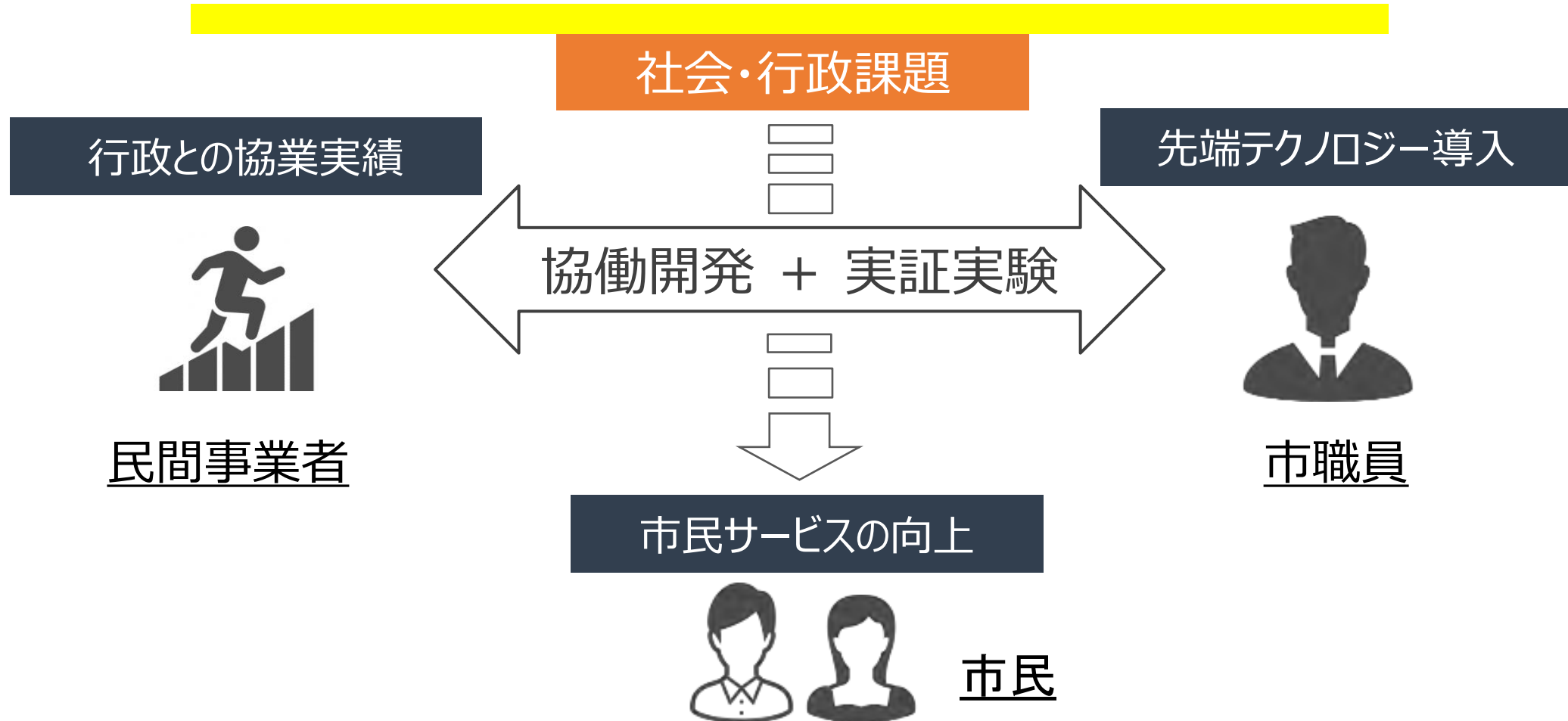


Urban Innovation TOYONAKAとは？

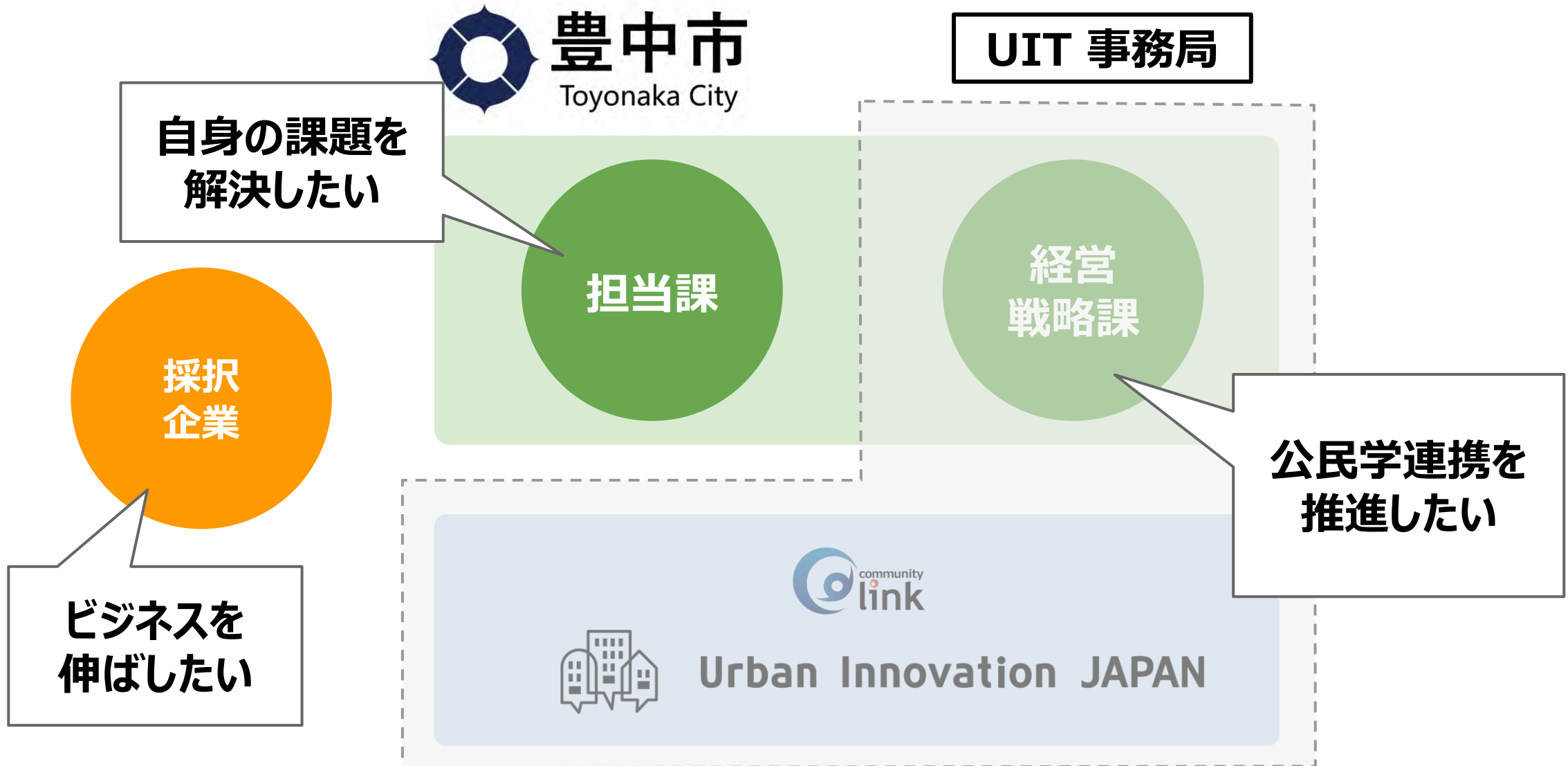
slido.com #uit2023



スタートアップをはじめとする事業者と市職員が協働して
行政課題や社会課題の解決に取り組むことで、
事業者の後押しと市の課題解決を目指す取り組み









3・4月

庁内課題募集
テーマ選定



デジタルツールで支援の現場を繋ぎ、切れめなく子どもの発達をサポートしたい！

現場担当課の職員が手を挙げて、プロジェクトがスタート。

4月中旬～6月中旬

民間事業者等の
募集・選定



企業が興味を持ちそうなテーマ、所管課として進めたいテーマを選び、ウェブサイト公開。企業等の募集・選定を行います。

6月下旬～10月

実証実験



約4か月の協働期間で開発と実証実験を実施。解決策の有効性を検証します。

実証実験後

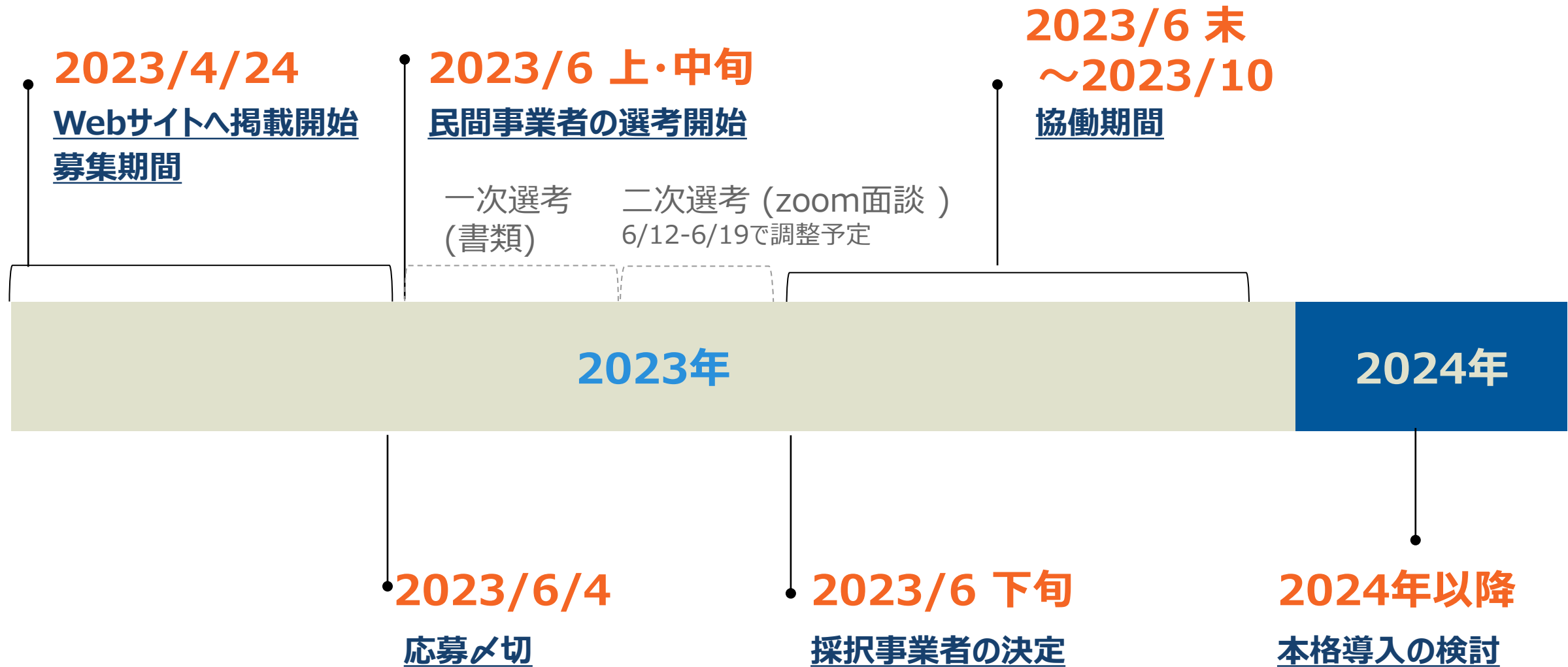
製品化・本格導入

成果① 市政データのオープン化・ビジュアル化



実証実験の結果を踏まえ、本格導入可否を判断します。さらにUIJが、他自治体への展開もサポート。







期間：2023/6/12-19

課題	担当課	日程候補(仮)
1. 子育て中、休むのは気が引ける？保護者の「フリータイム」をつくるための調査実証を！	こども支援課 (暮らしやすさ向上PT)	・ 6/15（木）
2. データでわかる!? 駅周辺の「にぎわいづくり」スキームをつくりたい！	都市整備課	・ 6/19（月）
3. 救急の知識を広めたい！アクティブシニアへの普及加速の実証実験！	救急救命課	・ 6/16（金）
4. 避難所のリアルタイム状況把握はどこまでできる？デジタルツール開発実証実験！	危機管理課	・ 6/12（月）
5. 保育現場の隠れた課題とは？真の課題を見つけて改革したい！	こども事業課	・ 6/14（水）

※応募件数や諸事情により別の日時に調整する可能性もございます

協働期間の流れ

slido.com #uit2023



方向性の決定



週一度程度の打ち合わせ

- ・実証実験のゴールの決定
- ・週一回のミーティング
- ・データ収集
- ・市民へのインタビュー、現場視察など実施

1ヶ月目

α版の開発



プロトタイプの開発

- ・仕様のFix
- ・スタートアップによる開発（開発を行わない場合もあり）
- ・ユーザーフィードバック

2ヶ月目

実証準備・調整



NFT作品展示、講座、トークショーなどNFTアートの魅力を体験するイベント
ビジュアルアーティストは窪田望氏、かねりん氏、黒口メンディー氏も参加。

実証の調整・広報

- ・関係各所との調整
- ・実証実験参加者の呼びかけ
- ・UX等の微調整
- ・プレスリリースの準備

3ヶ月目

実証実験

成果② データを活用した施策の効果検証・支援制度拡大



企業立地施策の対象エリア・業種拡大を検討。

実証と報告まとめ

- ・実証実験の立ち会い
- ・データ調査、アンケート
- ・場合によっては追加の実証実験
- ・報告書作成

4ヶ月目

実証実験の支援金の支給（豊中市の場合、50万円） ➡ 投資としての実証実験





実証補助 最大50万円/課題

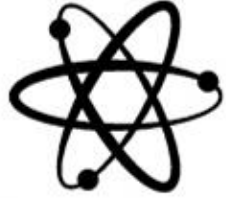


実証フィールドの提供



行政職員とUIIの
プロジェクトサポート

Urban Innovation TOYONAKAで実現できること



テクノロジーの実証
社会実装



社会課題解決と
ビジネスの両立



GovTech市場への展開



ユーザーニーズの発見



地域・自治体との
パートナーシップ



自社サービスの認知UP
信頼獲得

自治体や行政の課題へのハードルを下げ、挑戦する人を増やしていきます。



Urban Innovation JAPAN

スタートアップと行政職員が協働する課題解決プロジェクト

Urban Innovation JAPANの実績

slido.com #uit2023



全国初

2018年より、本格的に
運用開始

150件^{以上の実証}

22年度は50件以上/年を採択

1

2

4

3

課題解決率 **70%** 以上

実証実験で設定したKPIの
達成

継続利用率約 **50%**

開発したサービスを契約し
継続利用中



Urban Innovation JAPANの広がり

slido.com #uit2023



参加自治体数：22自治体

募集課題数：214課題

実証実験件数：158課題

のべ応募企業数：1,356件

(2023年4月時点)





- ✓本気で社会をよくしたいと思っている
- ✓地域・行政関係で新しいビジネスを作ろうとしている
- ✓リスクをとって事業拡大を目指している

子育て中、休むのは気が引ける？ 保護者の「フリータイム」をつくるための調査 実証を！

こども支援課（暮らしやすさ向上プロジェクト）

1.解決したい課題、実現したい未来



解決したい課題

子育て世帯は経済的、心理的などさまざまな負担を感じている。その中の一つとして、「家事、仕事に追われていて余裕がない」「子どもと向き合う時間が確保できない」などの時間的な負担感を抱えている



実現したい未来

これまで実施している子育て支援施策と合わせて、民間サービスも含めた様々な子育てサービスを活用しやすくすることで子育て世帯の時間的な負担が軽減され、豊中市が「子育て世帯に選ばれるまち」になる

2.これまでの取り組み

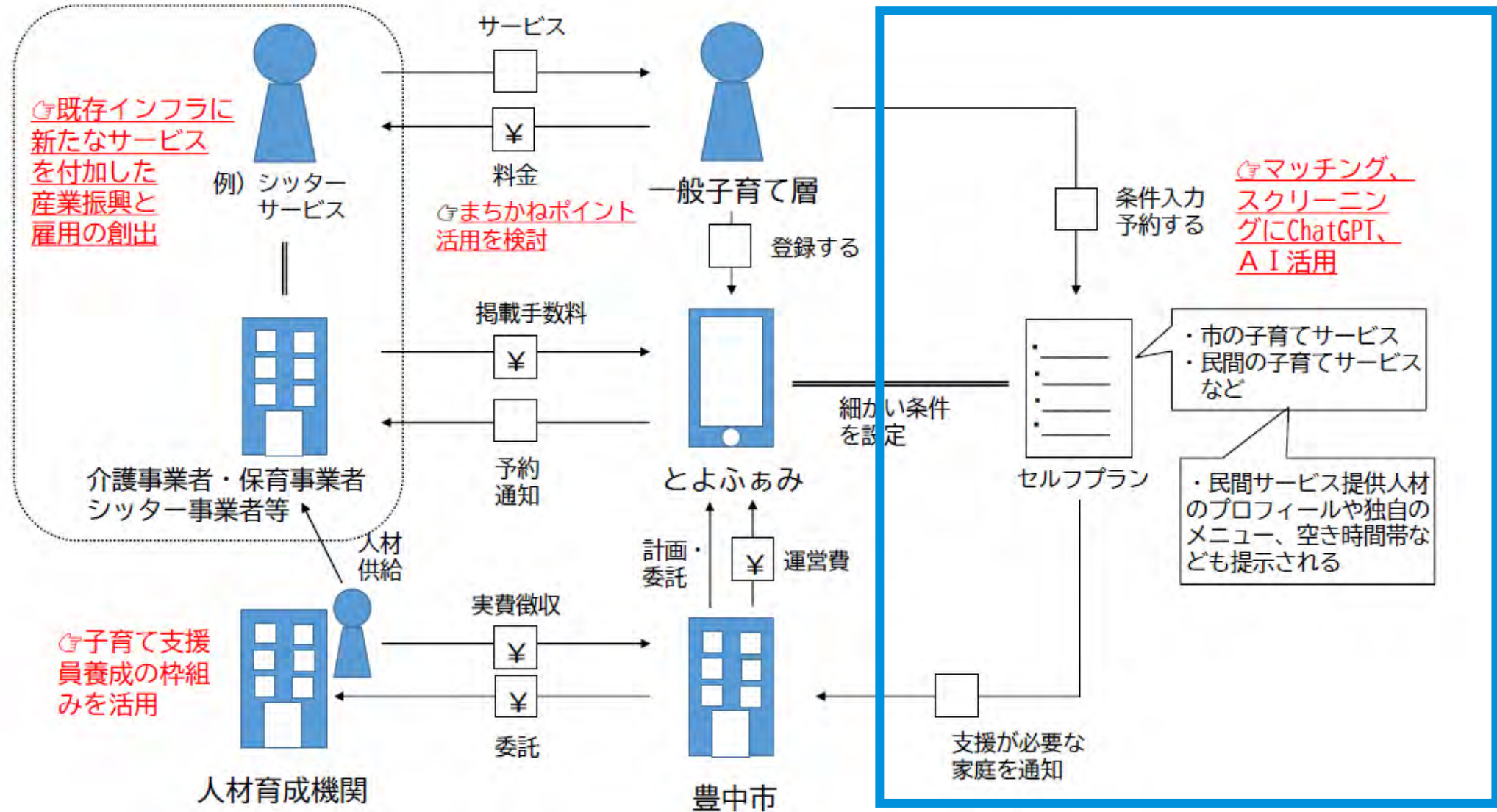


とよなか子育て・子育て応援BOOK
「みんなで」



豊中市子育て・子育て応援アプリ
「とよふあみ」

3.今回取り組みたいこと



4.実証実験で達成したいゴール

現時点では以下のようなゴールを想定。ただし、その他にも魅力的な提案・期待される効果があれば適宜柔軟に変更を検討する。

4か月の実証実験で得たい成果

- 課題解決のためのサービスモデルやシステム構築等の検討

データでわかる!? 駅周辺の「にぎわいづくり」 スキームをつくりたい！

都市整備課

1.解決したい課題、実現したい未来



解決したい課題

豊中駅は利用者が多いにもかかわらず、まちの滞在時間が短く、まちの賑わいに繋がっていない。まちの活性化を図るための新たな仕組みや機能を検討したい



実現したい未来

まちの賑わいを取り戻し、魅力あふれる豊中駅周辺地区の実現

2.これまでの取り組み

平成7年度 豊中駅前まちづくり構想
平成9年度 豊中駅前のまちづくりについて（基本方針）



令和3年度 豊中駅周辺まちづくり構想
取組方針や今後優先的に取り組むべき内容を整理

「銀座通り・一番街」を中心とした歩行者空間の拡充と
賑わいづくりに向けた道路空間の有効利用

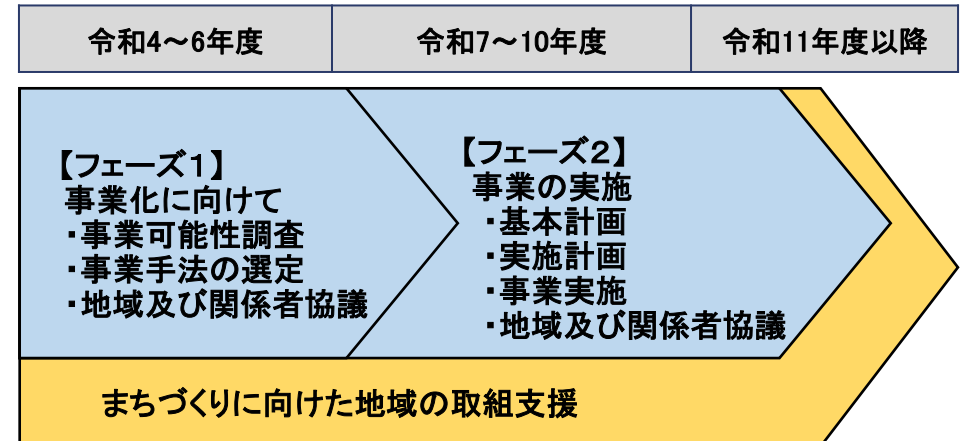
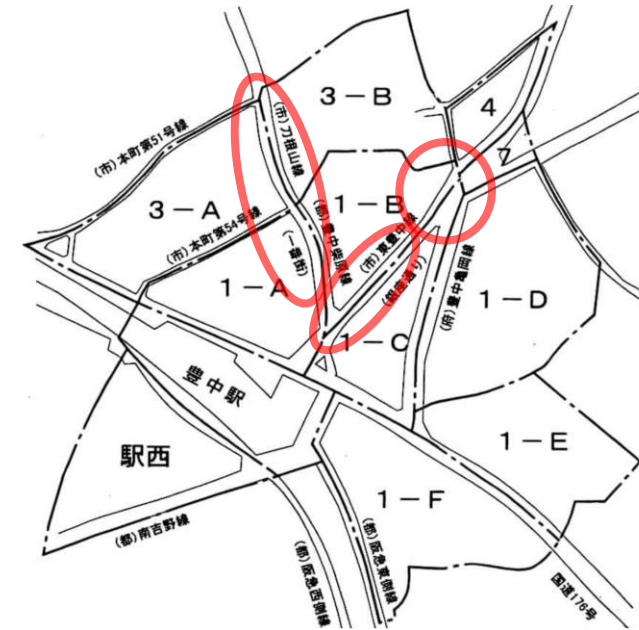


令和4年度 豊中駅前まちづくりミーティング（3回開催）

駅前の2階デッキ広場の有効活用 映画 落語
ミニコンサート 青空図書館 イベントで賑わい
花やみどりの配置 商店街とコラボ etc



川西駅前ピクニックテラスみたいなことがしたい！



3.今回取り組みたいこと



想定する実証実験

平常時とイベント等開催時の行動履歴を比較分析し、人々に求められている街の機能や滞留に繋がる効果的な仕組みを実証実験で行いたい。

現時点ではこのような実証実験を想定していますが
課題解決に資するアプローチを幅広く提案していただきたい

住民と来街者の行動の見える化

- 例)
- ・ 平常時とイベント時の人流データの取得及び解析
 - ・ 「にぎわい」の可視化
 - ・ まち利用者の属性取得及び解析

現時点ではこのようなゴールを想定していますが
その他にも魅力的な提案や期待される効果があれば
適宜柔軟に変更を検討します

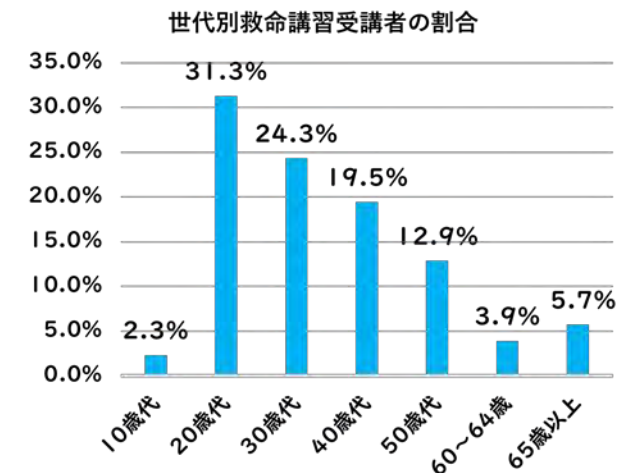
救急の知識を広めたい！アクティブシニア への普及加速の実証実験！

救急救命課

• 解決したい課題

アクティブシニアに応急手当の知識と技術を普及
高齢者の軽症救急件数を抑制

高齢者に刺さる広報が行えていない。



• 実現したい未来

必要なすべての人が応急手当を受けられる環境
進行する超高齢社会で持続可能な救急環境

2.これまでの取り組み

- シニア救命講習

55歳以上を対象に救命講習を実施

満足度は高いが参加者が集められない

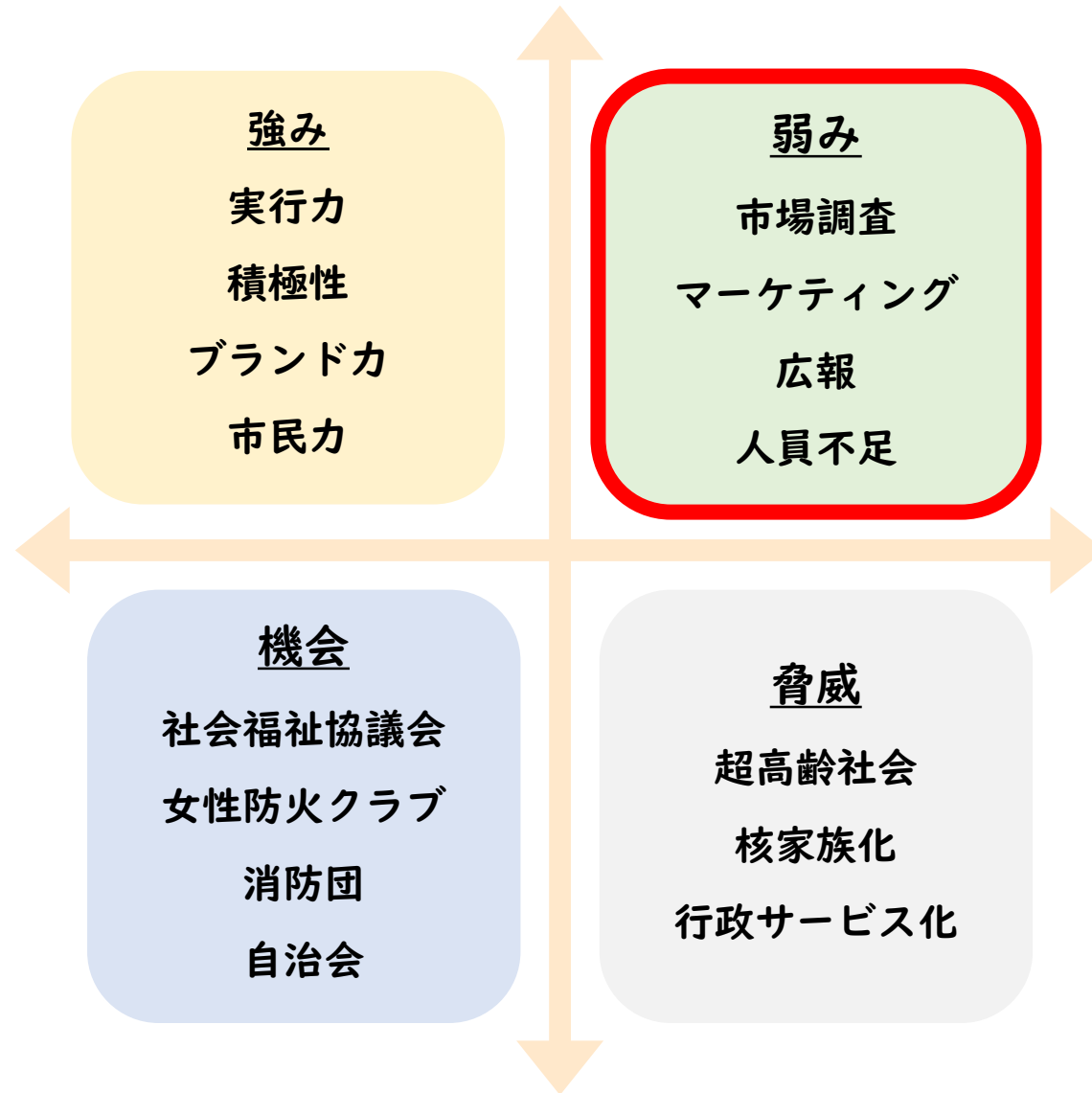


- 心肺蘇生法体操

豊中市社会福祉協議会の体操教室を対象に実施



3.今回取り組みたいこと



アクティブシニアの

- ・ 応急手当の阻害要因
- ・ 救命講習不参加理由
- ・ 軽症救急が増加する不安要因

などを分析し、分析結果を踏まえた課題解決のアプローチ法を施行し有効性を検証する。



4カ月の実証実験で得たい成果

- アクティブシニアの救急時の不安を把握
- 課題解決のための啓発ツールや仕組みを検討
- 企業の皆様との協働の中で救急普及啓発係の人材育成

そのほか魅力的な提案をいただければ柔軟に変更可能

避難所のリアルタイム状況把握はどこまでできる？デジタルツール開発実証実験！

危機管理課



解決したい課題

- ・避難所開設・受付から大阪府報告までのプロセスおよび各避難所の満空状況、物資の不足状況の把握に人的・時間的課題を抱えている。

リアルタイム
状況把握

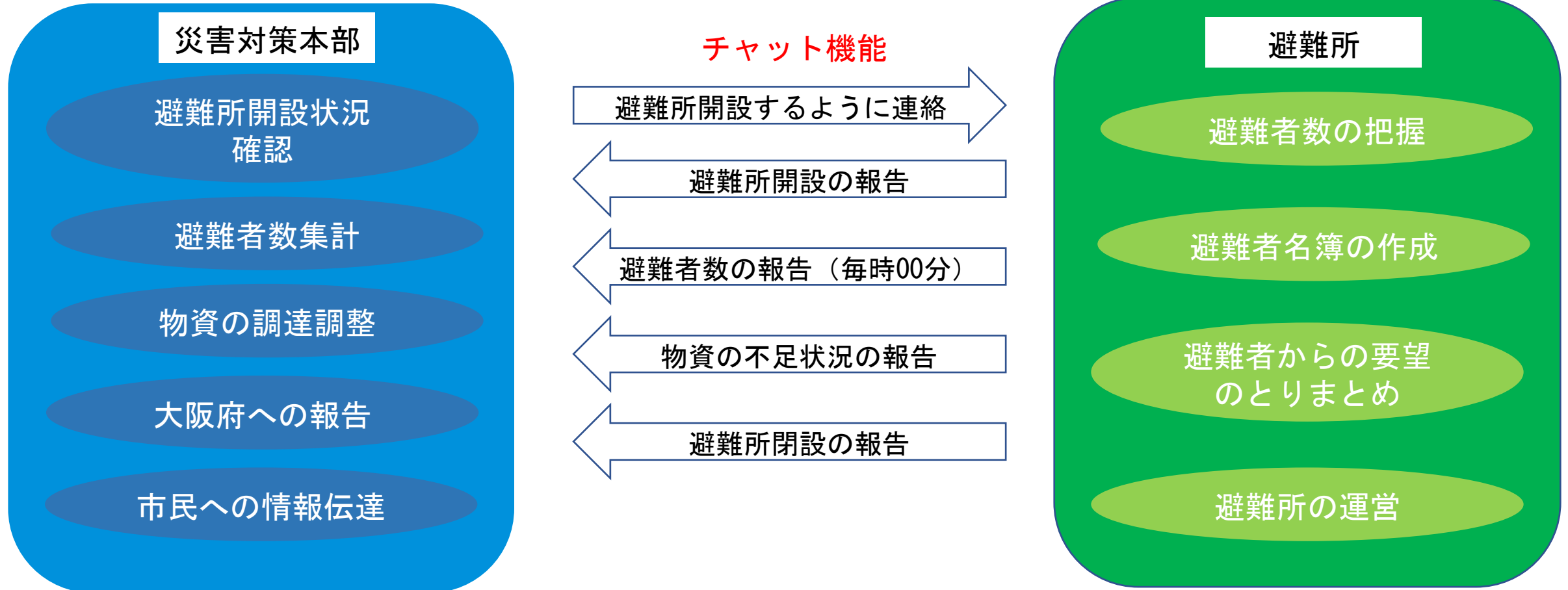


実現したい未来

- ・避難所の満空状況や避難所までの安全な避難ルートなどスムーズな避難行動および避難所運営につなげる。

市民の安心・安全に繋がる

2.これまでの取り組み





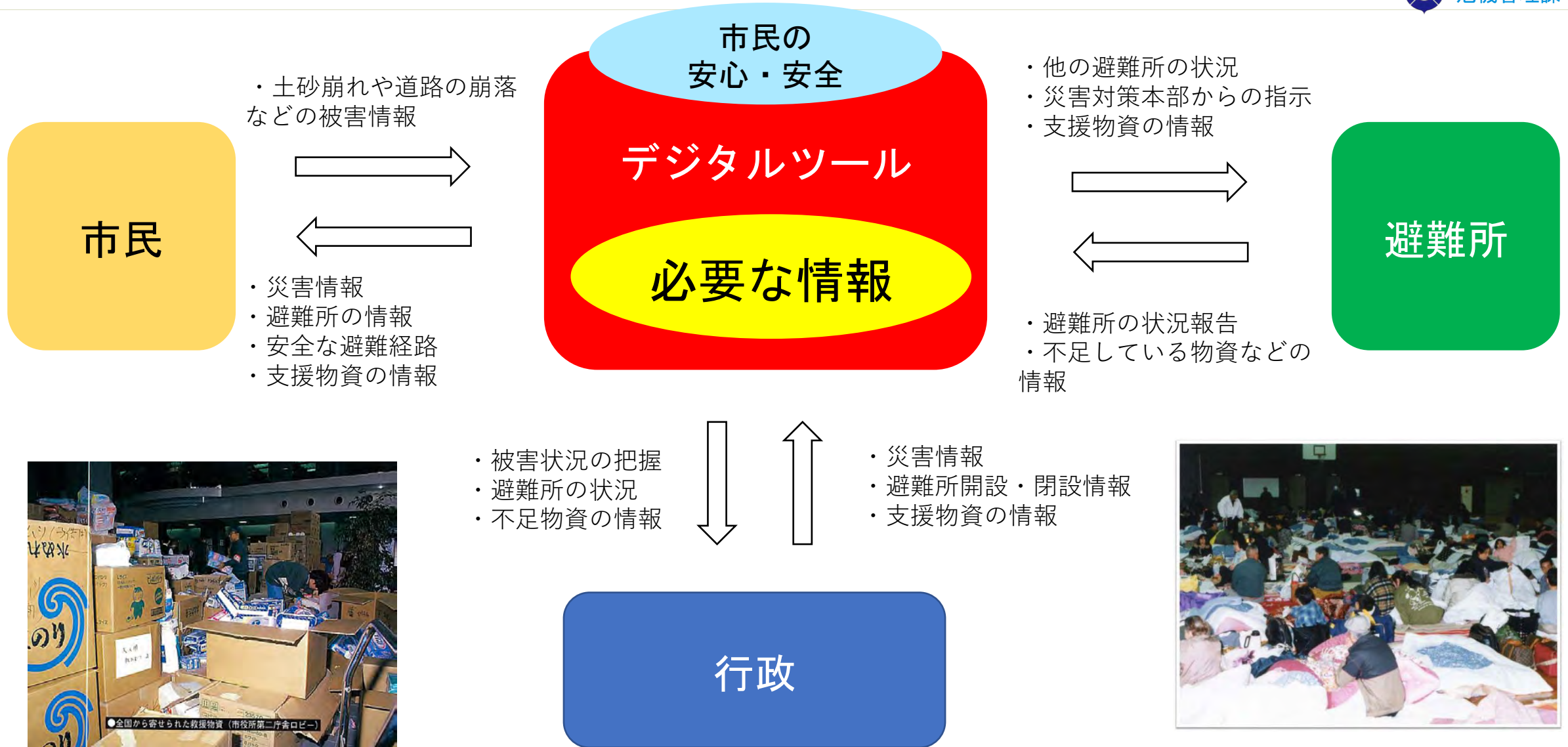
想定する実証実験

デジタルツールを活用し避難所開設・運営の迅速・効率化が図れるソリューションについて実証したい。

Point

- 避難所と市の災害対策本部がスムーズな連携が図れること
- 誰もが簡単に操作できるもの
- 迅速な住民周知についても既存のシステムを活用するため、親和性を確認すること

4.実証実験で達成したいゴール





保育現場の隠れた課題とは？ 真の課題を見つけて改革したい！

こども事業課

1.解決したい課題、実現したい未来

求人募集に対して応募数が少なく
深刻な人材不足に陥っている

応募数が少ない理由(=課題)
が把握できていない

働きやすい環境とは？

課題を把握・分析し
働きやすい環境にしたい！

実現できたら・・・

こどもたちとともに育つ、より良い保育への学びと実践ができる
こども園運営



2.これまでの取り組み

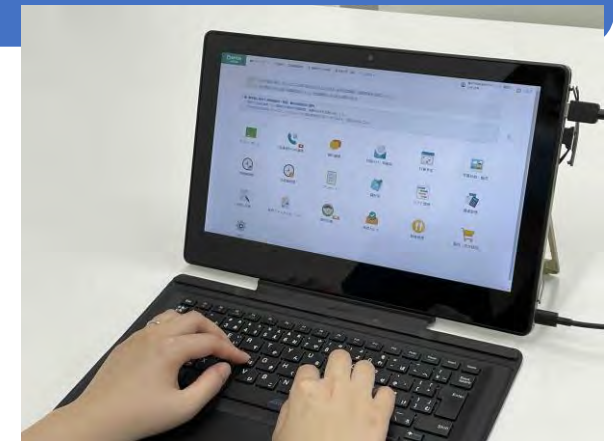
広告手段の拡大

- 折り込み求人チラシへの記事掲載
- Web広告の活用



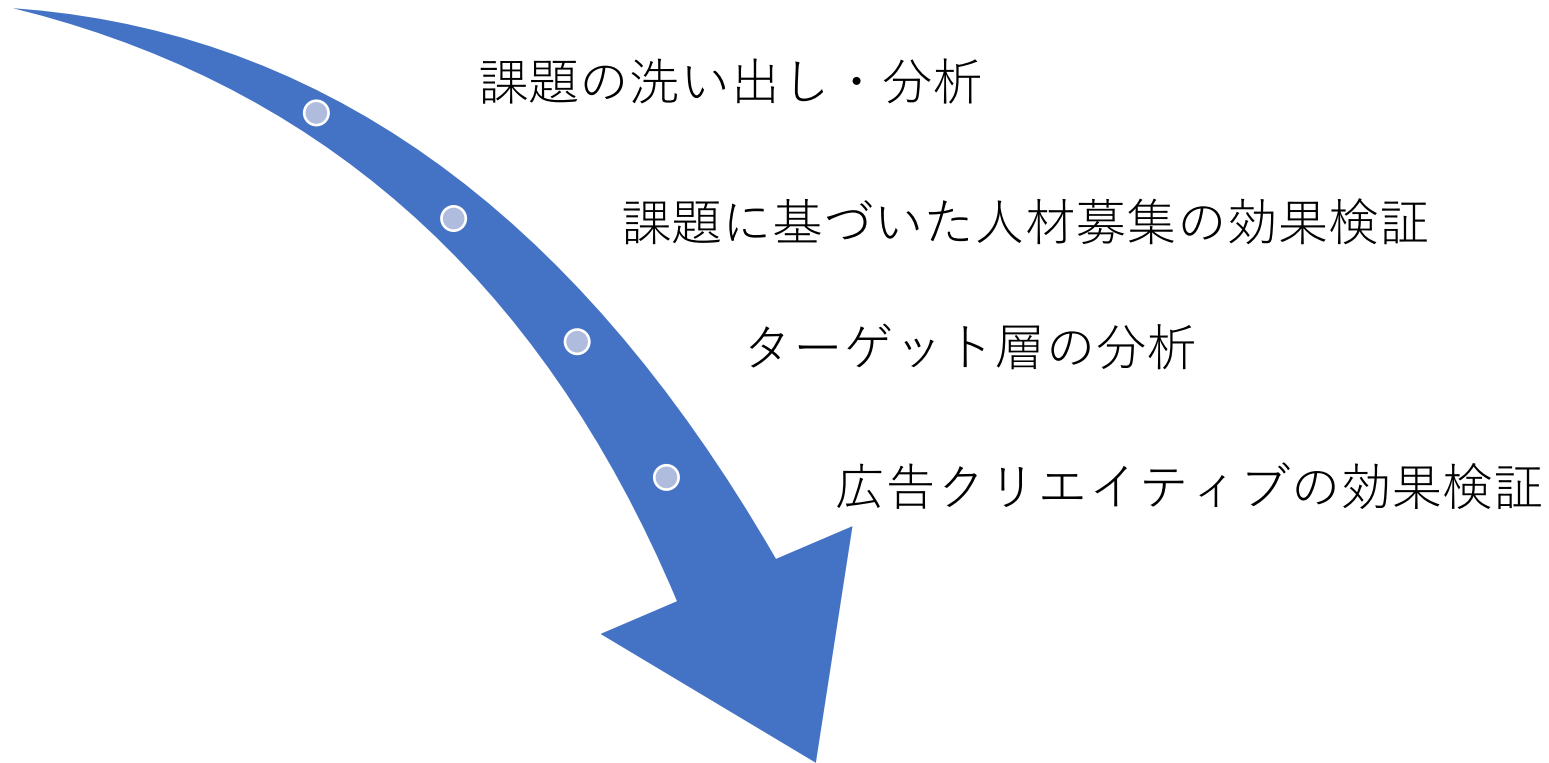
こども園の環境改善

- CoDMON(コドモン)システムの導入
(令和3年(2021年)～)
- 登降園打刻の管理、行事予定、おたよりをデジタル化



3.今回取り組みたいこと

働きやすい環境にするために
何をクリアすれば良いのか探りたい



現時点ではこのような実証実験を想定しておりますが、
課題解決に資するアプローチを幅広く提案していただきたいです！

4.実証実験で達成したいゴール

課題の把握

次の一手への見通し



現時点ではこのようなゴールを想定しておりますが、
この他にも魅力的な提案・期待される効果があれば柔軟に変更を検討いたします

Urban Innovation TOYONAKA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト



各テーマごとに質疑応答（15：45～16：25）

ご関心のある課題のブレイクアウトルームをご選択ください。
担当課の職員に、直接課題についてのご質問やご確認をしていただけます。
各ブレイクアウトルームの移動は自由です。
複数の課題にご関心のある方は、ぜひ各課の担当者とお話してみてください。

課題	担当課
1. 子育て中、休むのは気が引ける？ 保護者の「フリータイム」をつくるための調査実証を！	こども支援課 (暮らしやすさ向上PT)
2. データでわかる!? 駅周辺の「にぎわいづくり」スキームをつくりたい！	都市整備課
3. 救急の知識を広めたい！ アクティブシニアへの普及加速の実証実験！	救急救命課
4. 避難所のリアルタイム状況把握はどこまでできる？ デジタルツール開発実証実験！	危機管理課
5. 保育現場の隠れた課題とは？ 真の課題を見つけて改革したい！	こども事業課

※お困りの際は、事務局にお声がけください。

お申し込み方法



Urban Innovation JAPAN

UIJとは

実証事例

過去の課題

自治体の方
はコチラ

お問い合わせ

企業の方
はコチラ

申し込み

豊中市 (大阪府)

豊中市は、連携に関するご提案やご相談を一括して受付する「公民学連携のワンストップ窓口」を設けています。これまで、キッチンカーやシェアサイクルの実証実験、小学生の見守りシステムの導入、民間企業との人材交流など、さまざまなチャレンジを進めてきました。文化の異なる多様な主体が、互いに知恵や知見を出し合いながら、次々現れるハードルを乗り越え、一つの主体だけでは不可能なことを可能にしていく。それがまさしく、「公・民・学」連携の醍醐味だと考えています。今回は、アーバンイノベーション豊中の枠組みで、皆さまと一緒に地域課題の解決や、市民サービスの向上のためチャレンジできることを、職員一同とても楽しみにしています。皆さまからのご応募をお待ちしています！



募集中



豊中市
06.04
まで

豊中市募集課題一覧

締切 2023年 06月04日 (日)

【再掲】二次選考 (zoom面談) の予定スケジュール

期間：2023/6/12-19

課題	担当課	日程候補(仮)
1. 子育て中、休むのは気が引ける？保護者の「フリータイム」をつくるための調査実証を！	こども支援課 (暮らしやすさ向上PT)	・ 6/15（木）
2. データでわかる!? 駅周辺の「にぎわいづくり」スキームをつくりたい！	都市整備課	・ 6/19（月）
3. 救急の知識を広めたい！アクティブシニアへの普及加速の実証実験！	救急救命課	・ 6/16（金）
4. 避難所のリアルタイム状況把握はどこまでできる？デジタルツール開発実証実験！	危機管理課	・ 6/12（月）
5. 保育現場の隠れた課題とは？真の課題を見つけて改革したい！	こども事業課	・ 6/14（水）

※応募件数や諸事情により別の日時に調整する可能性もございます

アンケートへ回答のご協力をお願いいたします

回答は2-3分程度で終わりますので、ご協力いただけますと幸いです。

ご回答完了画面にて本日の説明資料へのリンクが表示されますので、ダウンロードください

<https://forms.gle/j4XagVLL3dBJTiLeA>



お問い合わせ先

運営

- NPO法人コミュニティリンク Urban Innovation JAPAN事務局
urban_innovation_japan@communitylink.jp